AUTOMATIC TELLER MACHINE

Publication number: JP7065217

Publication date:

1995-03-10

Inventor:

MASUO HARUO

Applicant:

HITACHI LTD

Classification:

- international:

G07D9/00; G06F19/00; G06Q40/00; G07D9/00;

G06F19/00; G06Q40/00; (IPC1-7): G07D9/00;

G06F19/00; G07D9/00

- European:

Application number: JP19930210187 19930825 Priority number(s): JP19930210187 19930825

Report a data error here

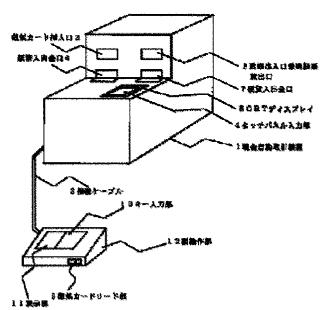
Abstract of JP7065217

PURPOSE:To enable operate in any style and improve the convenience of operation by a wheelchair user and the operability so that the wheelchair user can operate the machine on the wheelchair by providing a movable subordinate operation part.

CONSTITUTION: The subordinate operation part 12 equipped with a magnetic card read part 9, a key input part 10, and a display part 11 is connected to an automatic teller machine body 1 by a connection cable 8. When transaction operation is started at a main operation part, subsequent transaction operation is permitted at the main operation part and the contents of inputted data are displayed at a main display part. When transaction operation is started at the subordinate operation part 12, on the other hand, subsequent transaction operation is permitted at the subordinate operation part 12 and the contents of inputted data are displayed at the subordinate display part 11.

Consequently, the automatic teller machine can be operated at a free position regardless of the installation configuration and dedication configuration of the machine. Further, at-hand operation using the subordinate operation part 12 is enabled to reduce misinput and

misconfirmation.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

Þ 噩 特罪公 機(A)

<u>12</u>

特開平7-65217 (11)特許出願公開番号

(43)公開日 平成7年(1995)3月10日

(51) Int.Cl.*	識別記号	庁内整理番号	FΙ		技術表示箇所
G07D 9/00	421				
	426 Z				
	436 Z				
G06F 19/00					
			G0 6 F 15/30	5/ 30	Þ

oc /cı

(1 € ≞

(22)出題日 (21) 出願#与 平成5年(1993)8月25日 特蘭平5-210187 (72)発明者 (71) 出魔人 000005108 增尾 晴男 株式会社日立製作所

特金請求 未請求 請求項の数1 10

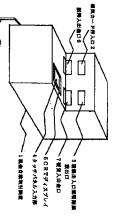
東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地

(74)代理人 **弁理士小川 勝男** 社日立製作所オフィスシステム事業部内 爱知果 尾斑菌 市晴丘町 池上 1 母地 株式会

(54) [発展の名称] 現金自動取引装置

防止が可能となる事を特長としている。 び二形態の入力方式を用意する事でタッチパネルに慣れ 事によりどのような体形にても操作が可能である事およ ない人はキータイプの入力形態を選択できる事で誤入力 【目的】本発明の目的は、移動可能な副操作部を設ける

一夕表示部)を設け、ここからのデータ入力および表示 の外部に別の入出力部(カードリーダ、キー入力部、デ を可能とし取引操作を可能とした。 【構成】上記目的を達成するために、現金自動取引装置



【特許請求の範囲】

択によりいずれか一方の操作部から操作が開始された時 いて、一方の操作部は移動可能としておき、操作者の邀 力部, データ表示部等)を有する現金自動取引装置にお 作および表示を有効とすることを特長とした現金自動取 は、それ以降当該取引終了まで当該操作部のみ、取引操 【訥求項1】複数の操作部(カードリード部、データ入

【発明の詳細な説明】

[0001]

式に関するものである。 者の操作,色弱者および暗証番号漏洩防止の為の操作方 作方式に関し、身体障害者(イス利用者)の操作,車利用 【産業上の利用分野】本発明は、現金自動取引装置の操

[0002]

るという事で、専用の装置または設備が必要となってい のまま利用する為には現金自動取引装置自身を移動させ の装置となっていた。また、車利用者の操作場合も乗車 助取引装置本体に点字,電話器等を付加して色弱者専用 【従来の技術】従来は取引操作を容易にする為、現金自

ルキーによる誤入力防止対策の配慮がなされていなかっ 【0003】また近年、急速に普及してきたタッチパネ

[0004]

操作が困難であるという問題を有していた。 成人が起立して操作するという通常の操作方法でないと 力操作部,出力部(表示部)が木体に固定されており、 【発明が解決しようとする課題】上記従来技術では、入

慣れない人はキータイプの入力形態を選択できる事で誤 および二形態の入力方式を用意する事でタッチパネルに ける事によりどのような体形にても操作が可能である事 入力防止が可能となる事を特長としている。

【0005】本発明の目的は、移動可能な副操作部を設

データ入力および表示を可能とし取引操作を可能とし に、現金自動取引装置の外部に別の入出力部(カードリ ーダ、キー入力部、データ表示部)を設け、ここからの 【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため

[0007]

示も主表示部に行う。 操作部より取引操作を許可し、入力したデータの内容表 【作用】主操作部より取引操作が開始された時は以降主

れ、副操作部から入力したデータが正操作部に表示され ら入力したデータが副操作部へ表示される事は防止さ の内容表示も副表示部に行う。これにより、正操作部か 時は以降副操作部より取引操作を許可し入力したデータ 【0008】一方、副操作部より取引操作が開始された

2

特開平7-65217

ある他、車イス利用者による操作の利便性、車利用者が 乗車のままで操作可となるような操作性の向上を図る効 点として、暗証番号を他人に漏洩されにくくなる効果が 【0009】また、移動可能な副操作部を備える事の利

[010]

【実施例】以下に本発明の実施例を図面により説明す

の外観を示したものであり、同図に示すように現金自動 スプレイ表示部5と紙幣入出金口6と硬貨入出金口7が 取引装置本体 1 には、磁気カード挿入口 2 と通帳出入口 0と表示部11を備えた副操作部12が接続される。 ケーブル8により嬢気カードリード哲9とキー入力時: 備えられている。またこの現金自動取引装置からは接続 兼明細票放出口3とタッチパネル入力部4とCRTディ 【0012】図2は、装置全体のユニットの構成例を示 【0011】図1は、本発明で用いる現金自動取引装置

たる。 キー入力を行なう正入力部21,その入力結果の表示を 置本体内の制御部20とは接続ケーブル35により結ば 副入力部の入力結果の表示を行なう副表示部33,31 置本体外部に設置した副カード部31, 副入力部32, 伝送制御部29,装置に電源を供給する電源部30,装 票印字部26,紙幣入出金部27,硬貨入出金部28, 用者の入力データを格納する記憶装置25, 通帳・明細 正カード部23, 21~23からなる正操作部24, 利 20、装置本体に備えられたタッチパネルからのタッチ ~33からなる副操作部34を示す。副操作部34と装 行なう正表示部22,カードのリード/ライトを行なう したものであり、装置全体のユニットを制御する制御部

【0013】図3は、取引の処理フローを示す。

以降当該取引終了までその結果は正表示部22に表示す 置21から取引の選択を行なった時、または正カード部 5に正操作部24からの操作である事を記憶しておき、 23にカードを挿入し取引を開始した時は、記憶装置2 【0014】取引操作者が現金自動取引装置の正入力装

を開始した時は、記憶装置25に副操作部34からの操 った時、または副カード部31にカードを挿入して取引 その結果は副表示部33に表示する。 作である事を記憶しておき、以降以降当該取引終了まで 【0015】また、副入力部32から取引の選択を行な

[0016]

自由な位置での操作が可能である。また、副操作部によ り手元で操作が可能となり入力誤り、確認誤りも減少す 能な為、装置の設置形態・専用化の形態にかかわらず、 【発明の効果】本発明によれば、自由な位置で操作が同

【図面の簡単な説明】

【図1】現金自動取引装置の外観図。

特開平7-65217

8…接続ケーブル、 9…磁気カードリード郎、 6…紙幣入出金口、 5…CR Tディスプレイ表示部、 4…タッチパネル入力部、 2…磁気カード挿入口、 3…通帳出入口兼明細票放出口、 7…硬貨入出金口、 1…現金自動取引装置、 【図2】現金自動取引装置の構成図。 【図3】取引の入力操作フロー。 【符号の説明】 3 6 21…正入力部、 22…正表示部、 30…電源部、 31…刷カード部、 25 記憶装置、 24…正操作部、 23…正カード部、

35…接続ケーブル。 34…副操作部、 33…副表示部、 32…副入力部、 29…伝送制御部、 28…硬貨入出金部、 27…紙幣入出金部、 26…通帳・明細票印字部、

[図]

9

12…副操作部、

11…表示部、 10…キー入力部、

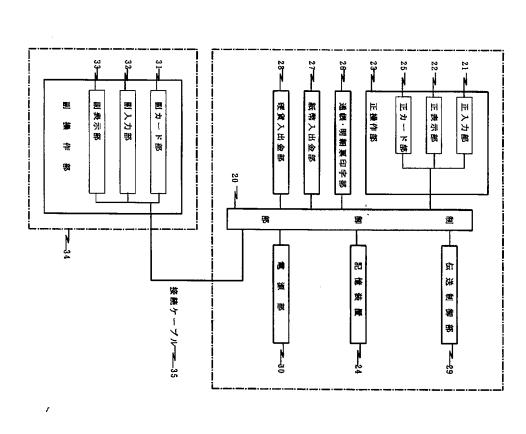
祖女カード加入口2 東東人出金口 6 /12長妻を毎 3 過載出入口禁忌指票 對近口 7 機質入班会口 、4タッチパネル入力部 **へもCRTディスグレイ** * 1 混合自动设备集目

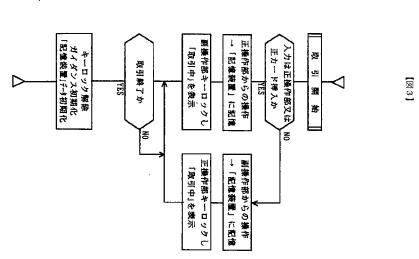
特開平7-65217

<u>4</u>

[図2]

[図 2]





特開平7-65217

(5)